

微生物誘導技術を使った新産業創出と環境革命

地球最初の生物と言われているラン藻（シアノバクテリア）とIT技術を活用して、新しい農業・漁業、下水道その他の関連産業を中海・宍道湖圏で今年より本格的に事業化する計画です。災いを福とするこの科学技術は夢と希望が生まれる地域に転換できる起爆剤となるはずです。

生命科学技術のアドバイザーとしてご指導いただいた医学博士坂本巖先生と、三十年間にわたってラン藻の増殖技術によるピロール農法の普及活動に勤めてきた黒田与作ピロール農法研究所所長をお招きし、講演会を開催する運びとなりました。講師がアドバイザーを務める分科会も合わせて開催いたしますので、お忙しい時期とは存じますが、ご参加いただきますよう御案内申し上げます。



■小松 昭夫
1944年島根県生まれ。
1973年小松電機産業を創業。
1994年人間自然科学研究所を設立。孔子文化大学客員教授。

◆ 講師プロフィール ◆

■坂本 巖

1941年 島根県生まれ。医学博士、元島根大学教授、生態行動学。宍道湖・中海淡水化事業、本庄工区干拓事業に、生態学の観点から警鐘を鳴らし続けた。小松電機産業(株)のアドバイザーとして、下水を微生物のコントロールにより農業などに再利用できるように変えた有益機能水・濃縮微生物液開発に成功。小松電機産業(株)顧問。(財)人間自然科学研究所理事。



■黒田 与作

1948年 福井県生まれ。酒井理化学研究所主宰の酒井弥理学博士の研究を基本に、ピロール農法の普及に尽力している。1976年有限会社黒田商事設立。ピロール資材の生産開始。88年に全国ピロール会を設立。ニュージーランド、韓国などでもピロール農法を指導。ピロール農法により、日本・世界の農業、そして、人の生き方も変わっていくと確信している。ピロール農法研究所所長。



【講演スケジュール】 平成19年3月3日(土)

場所:太陽ホール (小松電機産業本社)

定員:100名 参加費(資料代含む):500円

第一部 13:00~13:30 (受付開始 12:30~)

・基調講演「微生物誘導技術を使った新産業創出と環境革命」小松 昭夫

第二部 13:30~15:00

・講演 「ITを活用した有益機能水培養施設」

坂本 巖博士

・講演 「環境に優しいピロール農法」

黒田 与作所長

第三部 15:00~16:30

・パネルディスカッション

司会 小松 昭夫

坂本 巖博士、黒田 与作所長、中村 千年氏(全国ピロール会会長)

第四部 17:00~

・分科会 ミーティングラウンジ(小松電機産業 2F)



松江市乃木福富町735-188
松江湖南テクノパーク内

次の申込書をご記入のうえ、Fax 又は E-mail 頂きますようお願い致します。

Fax 050-3161-3846 E-mail webmaster@green.hns.gr.jp

※分科会は ①農・水・畜産業 ②上下水道・建設資材 ③代替医療

氏名	分科会	住所	電話/Fax/E-mail
		〒	Tel : Fax : E-mail :
		〒	Tel : Fax : E-mail :